浪江中だより

平成30年度 第36号 2. 15 2019. 文責 校長 鴫原 俊洋



教 育 標

- 自ら探求的に学ぶ生徒
- 礼儀正しく、節度ある生活をする生徒
- 健康で、安全な生活をする生徒
- 自分に自信を持ち、行動できる生徒(今年度重点目標)



立志・卒業のつどいにて

先週行われた「立志・卒業のつどい」では、2年生1 名、卒業生3名から素晴らしい決意並びに今の思いの発 表がありました。当たり前ではない環境の中で、それぞ れがたくましく成長していることを感じることができま した。何よりもうれしかったのが、「今まで育ててくれた 家族の方への感謝しと、「何物にも代えがたい友の存在が 大きかった」という言葉を聞けたことです。普段最も身 近にいるのですが、なかなかそのありがたさを感じたり、



感謝したりすることが難しいのが家族や友人なのかもしれません。そのことに気づき、思いを伝 えることができたのは、立志・卒業という節目において、とても意義ある事だったと思いました。 私から、校長最後の授業として次のような話をさせていただきました。



人生において最も大事なものは何か?人それぞれ違うと思いますが、私は「人 とのつながり」だと考えています。(教育長さんもおっしゃっていました。)人と のよいつながりをもつためにも、どうぞ出会いを大切にしてください。そして、 出会った人と互いに高め合う努力をしてください。皆さんに三つの言葉を贈りま

す。「一期一会」「初志貫徹」「切磋琢磨」これからは今まで君たちを見守り、支えてくれた すべての人に恩返しをする番です。その恩返しとは、君たち一人一人が「たくましく生きる」 ことです。感謝の気持ちを忘れず、しっっかりと自分の決めた道を歩んでいってください。

浪中生としてのこころざしを高める10か条

- 話をしている人を見て黙って話を聞く
- 「すみません、ごめんなさい」を心を込めて言うわがままを言わず、指導されたことや指示に素直に従う時間・約束・きまりを守る
- 物を大切にし、身の回りの整理整頓を自主的にする
- 弱い者いじめやひきょうなことをしない
- うそをつかない
- 状況を判断して、がまんすることができるようにする
- 思いやりの気持ちをもって、なかよく助け合う
- 自分の役割や仕事に責任をもつ

保護者の皆様、温かな励ましの言葉 をありがとうございました。子どもた ちは卒業・進級に向けて日々成長し、 着実に歩みを進めています。本校職員 も一丸となって、子どもたちが新たな ステージに臨む、その日が来るまで支 援を続けたいと考えております。どう ぞご理解とご協力をお願いします。